

番号	質問者	質問時間	件 名	要 旨	具 体 的 質 問 内 容	質問の 相手
1	牛 房 良 嗣	3 0 分	1. 「園児への英語学習支援」 グローバル、国際化の社会、世界で活躍できる人材の育成。	取組に対する町長の所見を問う。 英語力養成15年プラン （1）園児から中学生までの15年間を3段階に分けカリキュラム設定、切れ目のない学習を目指す。 園児からの英語学習は早期の学習、習慣が一般教科の学力向上にも役立つ（一石二鳥の効果）。	具体的プラン推進のため ① 園児への支援は、民間幼児研究機関と提携、委託、外人講師ALTによる週1回（40分）の巡回指導。 ② 小学校1年生からの早期英語学習の取組。 平成29年8月初旬までに県国へ申請、平成30年度から実施（許可） ③ 最終の中学生期には英語での授業の理解とディスカッション力、コミュニケーション力を身に着けるレベルを目指す。	町 長 教 育 長
			2. グランド、広場、公園等の屋外施設利用者の安全を確保 「屋根付き、避雷針付のベンチの設置を」。	（1）天候急変による災害の増加（気温の急変、竜巻、雷雨等）からの安全性の見直しを。	① 特に高齢者、小学生たちを災害から守るためにも最低限屋根付きのベンチを強く要請する。	町 長
2	助 村 千 代 子	3 0 分	1. 保健行政について。	（1）「健康マイレージ」の取り組みについて 国民の健康寿命を延ばすため(生活習慣病を中心とする疾病予防、介護予防)、従来の後期高齢者支援金の抑制から方針転換し、昨年度改正された法律において、個人や保険者にインセンティブを与えて国民健康保険事業への取り組みを促すことが推奨されました。これを機会に、より一層の病気予防と健康づくりの取り組みを。	① 日本一健康な町「しめ」をめざして、「健康マイレージ」の取り組みを特定健診やがん検診の受診やスポーツ活動、健康講演会などに参加することで、ポイントを貯めると特典を利用することができる「健康マイレージ」（ヘルスケアポイントシステム）の取り組みで、健康づくりに励むことで、個人も町も医療費や介護費の抑制につながる、また地域コミュニティや地域経済の活性化など、まちづくりや人づくりに繋げていくことができる。	町 長
				（2）乳幼児のB型肝炎ワクチン予防接種について。	① B型肝炎についての所見は。 ② B型肝炎ワクチン任意接種の1歳児から3歳児までの乳幼児への公費助成について。	町 長
3	野 上 順 子	3 0 分	1. 上下水道問題について。	（1）生活保護世帯に対する下水道使用料減免制度廃止を問う。	① 志免町での減免制度とは、今ある制度の状況はどうなっているか。 ② 生活保護の基準の切り下げ、老齢加算の削減と行われているがいくら下がったのか。 ③ 生活は厳しくなっている状況があるがなぜ今なのか。 ④ 減免廃止について、いつの時点から話し合いが行われたのか。 ⑤ 廃止による影響をどのように調査されたのか。 ⑥ 福岡市がやめたので志免町もやめるにはなっとくできない。福岡市の財政状態と志免町は一緒なのか。 ⑦ 6町同時に進める理由は、それぞれ町の考えの違いはあるはずだがどのような話し合いが行われたのか。 ⑧ 全額廃止でなく、段階的にできないのか。 ⑨ 廃止になったらどの位の負担増になるのか、支払いができなく水	町 長

				(2) 町長の公約のひとつである水道料金の値下げを問う。	道を止められる世帯もでるのではと心配する。 対策は考えているのか。 ⑩ 廃止せず、住民の福祉を守ってあげるやさしい町づくりも、町づくりのひとつではと思うが。 ⑪ 廃止の通知は十分なのか。 ① 水道料金の値下げに町民は期待されている、できるのか現状をお聞きしたい。	町 長
4	丸山真智子	30分	1. 防災・減災対策を万全に。	(1) 防災対策の第一次的責務を町は担っている。	① 急傾斜地崩壊危険箇所及び土砂災害警戒区域の状況についての点検と観測体制の整備。崩落防止工事の施工。 ② 災害時要配慮者の支援について。関係機関情報共有方式。 ③ 自主防災組織の育成・指導について。資機材の配備、情報の伝達、避難訓練。 ④ 学校での防災教育、避難所開設・運営訓練。 ⑤ シェイクアウト（一斉地震防災訓練）の実施。	町 長 教 育 長
			2. 町内会（自治会）の脱会問題について。	(1) 少子・高齢化の時代。助け合う地域づくりのために町内会（自治会）の必要性を改めて問う。	① 町内会の意義の確認。 ② 町内会の加入率は。脱会が増えることへの問題、対策は。 ③ 自治モデル検討特別室は何を目指すのか。	町 長
			3. 宇美川について。	(1) 第17回クリーンUPうみ川を実施しての課題。	① 飲料水となる水を取水している。クリーンUPの啓発強化が必要です。 ② 川の中の樹木、草の撤去について。	町 長
5	古庄信一郎	30分	1. 志免町における補助金・交付金等、（以下補助金等と称す）支援団体等の実態把握の方法、現況と評価、課題について。	(1) 補助金等で、活動の支援を行っている志免町の主な団体等の実態把握の方法と評価について。	① 志免町に於ける補助金等による支援団体の団体数は。（町内外別） ② 金額別団体数は。 （総額 ・500万円以上 ・100万円～499万円 ・50万円～99万円 ・50万円未満） ③ 補助金等交付の基本的考え方は。 ④ 交付決定、支給、報告、適正チェック、事業全体評価のあり方等一連について。 ・基本的な流れは（各課独自の見解と作業なのか） ・主要団体の事例について（数団体指定） ⑤ 補助金等関連条例等の整備、統一的考え方について。	町 長
				(2) 補助金等交付2団体の課題について。 ・「志免町社会福祉協議会」について ・宅老所「つどいの家」について	① 法改正による「社会福祉法人制度改革の骨子」とは。 ② 改革による定款見直しと「志免町社会福祉協議会」の今後についての町の想い、所見は。 ③ 行政・議会選出理事の位置づけと今後について。 ① 宅老所「つどいの家」への補助について。 （事業の内容、補助の適正、チェック、他） ② 宅老所事業の考え方と将来について。	町 長
6	二宮美津代	30分	1. 受動喫煙防止対策。	(1) 「受動喫煙防止対策」への対応。	厚生労働省は2016年10月12日、2020年東京五輪・パラリンピックに向け、受動喫煙防止策として、病院、学校など全面禁煙とする方針を打ち出しました。 現在は健康増進法で努力義務としている受動喫煙防止対策について町としての見解と対応を伺う。 ① 健康被害への対策。 ② 職場環境の実態把握。 ③ 受動喫煙防止対策助成金の活用。 ④ 受動喫煙防止等に関する条例の制定。	町 長 教 育 長

			2．認知症対策。	(1) 認知症の正しい知識の普及啓発。	認知症を正しく理解する、認知症の方が安心して暮らせる地域づくり事業として、2005年4月、認知症を知り地域をつくる10年構想が厚生労働省から出されたと理解しています。 この事業の一つとして、認知症サポーター養成講座が開催されていると思います。 そこで10年の状況を伺います。 ① 認知症サポーター養成講座の開催状況と活動状況（スキルアップ講座も含め）。 i 受講者数、開催場所。 （一般住民、民生児童委員、小・中学校、企業、商店、職員等） ii 組織化と連携。 ② 受講者アンケートの結果。 ③ キャラバンメイトの人数と活動状況。 ④ キッズサポータの養成。	町長 教育長
7	末藤省三	30分	1．生活保護制度。	(1) 下水道の減免制度の廃止について。	① 下水道使用料の減免制度の廃止について（保護基準）	町長
			2．水道料金について。	(1) 水道料金見直し。	① 水道料金の見直しについてどう考えているのか。 ② 高いと言われる水道料金。	町長
			3．共通番号制度について。	(1) マイナンバーの取扱いについて。	① 個人番号の漏洩についてどう対策をとっていくのか。 ② 年金漏洩はなぜ起きたか、またどう対処したのか。 ③ 責任を明確にすべきと思うが。	町長
			4．RDF発電事業について。	(1) RDFゴミ発電について。	① RDF発電事業についてどう考えているか。 ② 若杉クリーンパーク等における対策について。 ③ 今後のゴミ対策はどの様に進んでいくのか。	町長